

# Audio Accessory

季刊・オーディオアクセサリ

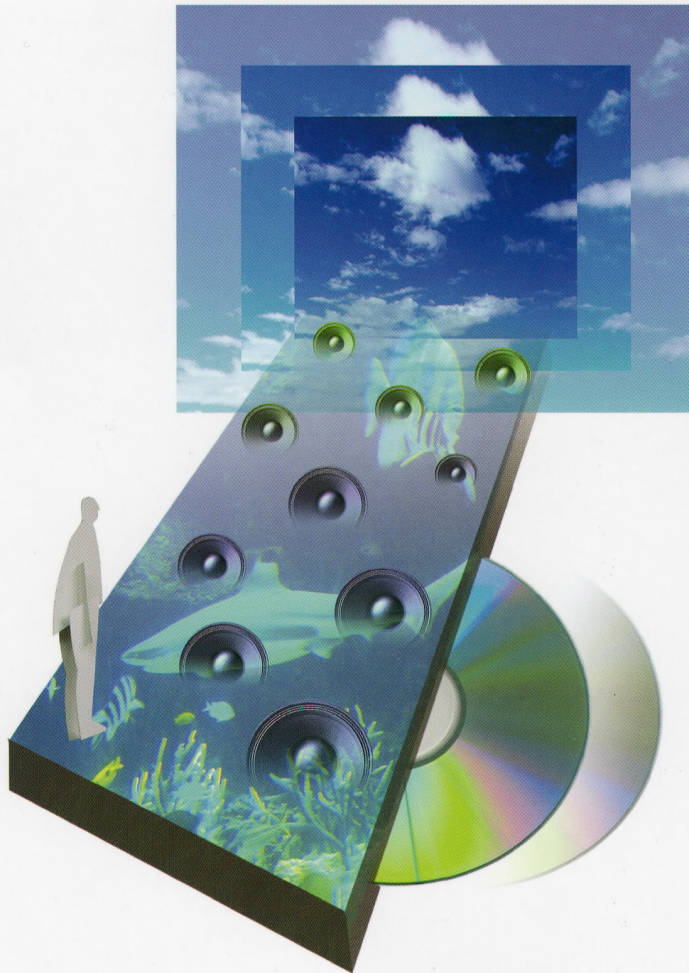
ISSN0285-1288

人気スピーカーと組み合わせる！  
新時代のプリメインアンプ決定版スクランブル



- ここから始まる！ルームチューニング・アイテム徹底研究 ●この1本でグレードアップ！「いま選ぶべき電源ケーブル」
- 厳選のアクセサリ&ケーブル大集合「福田屋セレクション2012」 ●12人の評論家を選ぶ！優秀録音盤

**特別付録CD** fontec “Classic Sound Tour in JAPAN”



2012 SUMMER **145** 使いこなし&グレードアップ情報が満載！



# 真空管を知り尽くしたブランドが 日本の音楽ファンへ送る特別モデル

## EAR EAR 834 Custom

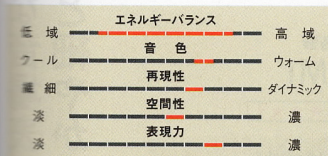
¥512,400



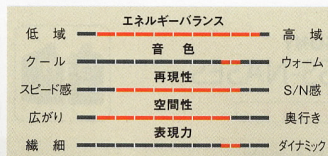
### Profile (編集部)

オーディオ・エンジニアリング界の鬼才、ティム・デ・パラヴィチーニ氏が主宰するイギリスのEAR。1977年の創業以来、獨創性に溢れた製品を多数世に送り出し、揺るぎない地位を獲得している同社の真空管式プリメインである。本機は同社のなかでも特に人気の高いEAR834にチョークを追加するなど、日本特有の電源環境にも配慮したうえでアレンジした日本限定の特別モデル。オーディオファンだけでなく音楽のプロフェッショナルにも認められたそのサウンドは、同社ならではの魅力を備え、多くの音楽ファンを魅了している。

### 総合評価(井上)



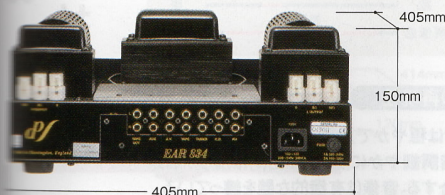
### 総合評価(岩井)



### 付録CDの再現性(井上)

#### 密度の高い音で聴くオーケストラは格別

みっちりとした芯の詰まった密度の高い音調で聴く、オーケストラの音はまた格別だ。それぞれの音色の違いが明瞭に現れるのも面白い。エネルギーの塊のような「パール・ギョント」も、生の感触十分だ。



### SPEC

●アナログ入力:RCA×6●アナログ出力:Tape Out×1●スピーカー出力:1系統(16Ω・8Ω)●型式:クラスA級、パラレルプッシュプル●出力:50W+50W●周波数特性:15Hz~40kHz(3%THD以下)●I.M.D.:<1%(10mW~50W)●出力ダンピングファクター:12●S/N:85dB●入力感度:200mV●入力インピーダンス:47kΩ●消費電力:300W●使用真空管:ECC83×2、ECC85×2、EL34×8●質量:20kg●取り扱い:ヨシントレーディング(株)

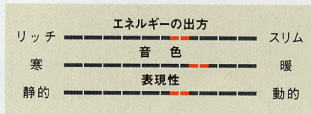


Text by 井上千岳 Chitake Inoue

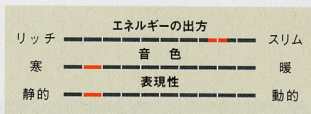
# 曖昧さを一切払拭した音調 真空管の特質を最大限に活かしている

管球式アンプに柔らかさや潤いといったイメージだけを追い求めるならば、このアンプにはびつくりさせられるだろう。曖昧さを一切払拭した音調は明晰そのもので、現代のトランジスタアンプでもここまで徹底してはいないように思える。だからといって硬質でしなやかさのない音かといえばそうではなく、明確な輪郭線を基調としてディテールの隅々に至るまで丹念に拾い上げて強烈な光を当てたような緻密さに富んでいる。歪みっぽさが皆無なのも真空管の特質を最大限に生かした結果といえそうで、そこに長年のキャリアが強く投影されているのである。チェロは弦の感触がきめ細かな響きで捉えられているが、線が太く腰の強い手触りも備える。艶やかな張りのある音色は、力強いエネルギーの反映といっている。アカペラは帯域をかつちりとまとめた出方で、その中に力感の乗ったハーモニイが曇りなく描き出されている。ピアノも男性的な表現ともいえるようだ。ピアノもタッチの切れが非常に鮮明で、深い響きには濁りがない。くつきりしているが余韻も豊かに乗っている。オーケストラの瞬発力は強烈で、鮮やかそのものの鳴り方はストレートで、色彩感も目覚ましい。

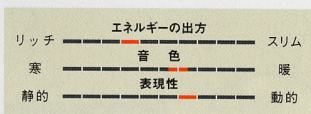
**DYNAUDIO FOCUS 260**  
★★★



**MONITOR AUDIO GX100**  
★★★★



**JBL 4429**  
★★★★★



### 組み合わせスピーカーとの相性

大音量のスケールという点で、JBLが力強い。低域も的確に制御されて瞬発力も高く、細部まで拡大されて見えるようなモニター的な感覚を味わうのもいい。

### アナログレコードでの再現性

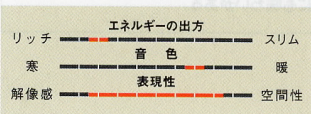
瑞々しくエネルギーに溢れたレコードの音が生き生きと鳴っている。レンジがちょうど良いのが無理がなく、伸びやかで楽器それぞれの音も鮮明そのものだ。

Text by 岩井 喬 Takashi Iwano

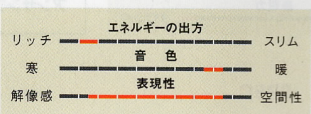
# 管球式ならではの質感表現と 高いS/Nや優れた解像度が両立

EL34を両chで合計8本使用したA級パラレルPP構成の管球式高級プリメイン。ゴージャスな倍音のきらびやかさ漂う音場と、ハリよく流麗なタッチの質感表現は管球式ならではの、S/N感や解像度についても優れており、低域はむっちりとした弾力豊かな張り出しを見せる。SACD再生では立ち上がり、素早い管弦楽器の鮮やかな艶めきが、ヌケよく耳に飛び込んでくる。ローエントドは引き締まり、空間の見通しも深く独特な色っぽさが漂うホルトーンも堪能できた。ヴォーカルはポトムをスマートに描くが口元はふわりと浮かび、倍音感の深さも感じ取れる。USB DAC接続においては華やいたハーモニイに包まれるオーケストラの艶やかな旋律と、ハリのあるティンパニの朗々とした響きが鮮度のある空間を生み出す。リズム隊はふつくとしたポトム感で、ピアノやヴォーカルの輪郭は倍音がきらめき、リヴァーブもリッチに感じられた。SS-NA5ESでは、弾力を見せるローエントドと倍音の滑らかな艶の豊かさもあり、潤いあるウォーム感に満たされる。PM1については空間性とのバランスが取れたサウンドとなる。

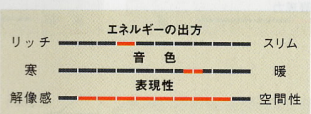
**ELAC FS247 BE**  
★★★★★



**SONY SS-NA5ES**  
★★★★★



**B&W PM1**  
★★★★★



### 組み合わせスピーカーとの相性

SS-NA5ESの流麗で重みのあるハーモニイは濃密なウォーム感が際立ち、管球らしい穏やかさが生かされる。PM1では弾力ある伸びやかさに加え、鮮度の良い艶が生々しいウェット感を誘う。

### ハイレゾ音源での再現性

192kHz/24bit音源における音像の存在感をほど良い膨らみで際立たせ、輪郭をハリ艶良い倍音で華やかに彩っている。余韻の響きは豊かに拡散し、質感の流麗さとのマッチングが良い。



# 管球式フォノEQの人気モデルに ボリューム・コントロールを追加

Text by 田中伊佐資  
Isasbi Tanaka

PHONO EQ

EAR

## EAR 834P De-Luxe

¥291,900  
(ボリューム有り)

**歪みが起きる可能性を  
ボリュームで解消できる**

ロングセラーを続けている管球式フォノイコライザーEAR 834Pシリーズに、「De-Luxe」へボリューム・コントロールをつけたヴァージョンが加わった。といっても3本のECC83(12AX7)を使用した従来の方式や構造に変更はない。ボリュームをつけた理由のひとつは、プリアンプを抜きでパワーアンプをダイレクト駆動できる点だろう。またレコード専用システムのか



歪みが起きる可能性をボリュームで解消できる。ロングセラーを続けている管球式フォノイコライザーEAR 834Pシリーズに、「De-Luxe」へボリューム・コントロールをつけたヴァージョンが加わった。といっても3本のECC83(12AX7)を使用した従来の方式や構造に変更はない。ボリュームをつけた理由のひとつは、プリアンプを抜きでパワーアンプをダイレクト駆動できる点だろう。またレコード専用システムのか

なりコアな用途ではあるけれど。音量調節ができる最大のメリットは、EAR 834Pの持ち味であるゲインの高いラウド・サウンドに隠されているのではないか。僕もBlackヴァージョンを使っているのでよく分かるが、EAR 834Pは色彩感が濃くスケール感のある再生をする。このボリューム追加版もまさに同様である。ただ、その美点と引き替えに、高出力カートリッジとカットインング・レベルが高いディスクを組み合わせると、ピーク時にやや歪みっぽくなる可能性がある。それを音量調節によって解消しようということだと思ふ。そんな音のざらつきがあったプログラムの爆音盤をツマミで加減して聴いたら、きれいにおさまった。パーツを付加したことによるクセやロスも感じられないので有益で便利な機能といえそう。

### Specifications

- 方式:管球式NF型●入力感度:MM2.2mV(1kHz@1V output)
- SN比:-80dB(IHF)●使用真空管:ECC83×3●サイズ:140W×105H×325Dmm●質量:3.5kg●取り扱い:ヨシノレーディング



5Ω, 40Ω仕様が選択可能